平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月8日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL　http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,269	7.6	368	240.2	340	297.4	211	―
24年3月期第3四半期	4,896	2.1	108	66.2	85	111.2	15	43.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.88	―
24年3月期第3四半期	1.10	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,462	13,535	87.5
24年3月期	15,605	13,536	86.7

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　13,535百万円　24年3月期　13,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
25年3月期	―	7.50	―		
25年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	7.1	515	76.5	470	83.9	290	178.1	20.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,400,000 株	24年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	160,702 株	24年3月期	159,941 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	14,239,848 株	24年3月期3Q	14,240,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレヴュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信[添付資料] 3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における国内経済は、これまで復興需要などもあり緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の減速を受けて輸出や生産の減少から景気停滞の状況が見られるようになりました。デフレ基調は続くものの直近では円高の定着からの反転や株価の上昇もありますが、総じて厳しい状況にありました。建設関連におきましては、公共事業、住宅投資などの民間工事が持ち直していることから、全般に回復基調を維持してきました。その結果、売上高は52億69百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は建築関連が堅調でありましたことから排水関連製品が増加し、設備資材関連や外構、景観関連製品も増加したことから、16億96百万円(同6.5%増)となりました。スチール機材は設備工事の改善や福祉関連製品が増加し、10億3百万円(同5.8%増)となりました。製作金物は建築、外構工事が堅調でありましたことから建築金物等が増加したことと免震関連製品も増加し、21億8百万円(同12.7%増)となりました。その他は土木向けが増加しましたが、建機、機械向け製品の海外需要の減速から、4億61百万円(同4.6%減)となりました。

利益につきましては、販売価格が厳しい市場競争の環境にありますが、販売量の増加による生産の増加や操業度の向上、及び材料価格が低位にありましたことから、売上総利益は17億79百万円(同18.8%増)となりました。また販売費及び一般管理費につきましても販売費用の増加はありますが諸経費の低減に努め、営業利益は3億68百万円(同240.2%増)となりました。営業外収支につきましては金利が引き続き低位にある中で受取利息等の収益は限られたものとなりました。その結果、経常利益は3億40百万円(同297.4%増)となり、四半期純利益は2億11百万円(同1,254.1%増)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ1億42百万円減少し154億62百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ17億5百万円増加し97億42百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億96百万円減少しましたが、現金及び預金が１年以内満期の長期預金の増加等により17億20百万円、たな卸資産が仕入の増加により2億円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ18億48百万円減少し57億20百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が償却の進捗等により1億1百万円、長期預金が1年以内への振替により17億50百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億41百万円減少し19億27百万円となりました。その主な要因は、買掛金が43百万円増加しましたが、未払法人税等が59百万円、賞与引当金が31百万円、流動負債のその他が未払金の減少等により86百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ0百万円減少し135億35百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が2億11百万円ありましたが、配当金の支払が2億13百万円あったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、公共事業をはじめとするエネルギーやインフラ関連投資、再開発工事など比較的堅調に推移するものと予想されますが、一方で海外情勢の動向や国内景況感の先行きは不透明な状況にあり、総じて厳しい状況が継続するものと予想されます。当社といたしましては需要が期待できる都市部の開発などに軸足を置き、物件別の販売に注力してまいります。また生産、調達、商品開発の各面での更なる改善を進め、コスト改善に取り組んでまいります。今後とも業績の一層の向上と、安定した収益基盤の構築に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想に関しましては、平成24年５月11日に公表した数値から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．【四半期財務諸表】
（１）【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第3四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,410,946	7,131,349
受取手形及び売掛金	1,587,504	1,391,269
製品	501,191	650,283
仕掛品	80,359	107,674
原材料及び貯蔵品	376,335	400,899
その他	80,951	61,407
貸倒引当金	△798	△697
流動資産合計	8,036,491	9,742,187
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,735,723	1,733,768
その他（純額）	1,349,495	1,249,734
有形固定資産合計	3,085,218	2,983,502
無形固定資産	3,882	1,960
投資その他の資産		
投資有価証券	60,324	60,948
長期預金	3,950,000	2,200,000
その他	481,219	485,885
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	4,479,544	2,734,833
固定資産合計	7,568,645	5,720,296
資産合計	15,605,136	15,462,484
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,911	334,344
未払法人税等	123,250	63,631
賞与引当金	47,676	15,725
その他	322,597	236,327
流動負債合計	784,436	650,029
固定負債		
退職給付引当金	301,066	297,590
役員退職慰労引当金	393,851	381,637
その他	589,559	597,965
固定負債合計	1,284,478	1,277,192
負債合計	2,068,914	1,927,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,454,194	10,452,472
自己株式	△68,685	△68,917
株主資本合計	13,525,508	13,523,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,713	11,707
評価・換算差額等合計	10,713	11,707
純資産合計	13,536,222	13,535,262
負債純資産合計	15,605,136	15,462,484

（２）【四半期損益計算書】
【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	4,896,022	5,269,787
売上原価	3,397,563	3,490,191
売上総利益	1,498,458	1,779,595
販売費及び一般管理費	1,390,033	1,410,681
営業利益	108,424	368,914
営業外収益		
受取利息	16,603	18,664
受取配当金	1,428	1,432
不動産賃貸料	14,270	14,236
その他	12,050	9,698
営業外収益合計	44,352	44,030
営業外費用		
支払利息	13,491	13,284
売上割引	47,923	54,316
その他	5,780	5,218
営業外費用合計	67,195	72,819
経常利益	85,581	340,125
特別利益		
固定資産売却益	56	－
特別利益合計	56	－
特別損失		
固定資産除却損	216	－
減損損失	－	1,955
特別損失合計	216	1,955
税引前四半期純利益	85,421	338,170
法人税、住民税及び事業税	29,681	100,187
法人税等調整額	40,092	26,104
法人税等合計	69,774	126,291
四半期純利益	15,647	211,878

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。